



防災ニュース 2017.2 第32号

宮前区役所危機管理担当/宮前区まちづくり協議会防災部会

市民広場に「防災キャンプ」出現!!

防災フェア 宮前区 2017

「災害」を乗り越える知識を、アウトドアスキルを通して「楽しく」身につける今年の防災フェアは「親子で楽しく防災を学ぶ」体験満載です。昨年8月に行われた川崎市総合防災訓練でも話題になったSTEP CAMPがアウトドアスキルを活かした防災を紹介します!



3月4日 土

10:00~15:00 小雨実施
会場/宮前市民館・市民広場 他

[オープニング] 10:00~10:30
宮前平中学校吹奏楽部の演奏
主催者あいさつ

STEP CAMP [防災体験ブース]

- 「居」を学ぼう: テント張り教室
- 「水」を運ぼう: スーツケースなどを使用
- 「火」をおこそう: 焚き火台、ナイフ
- 「灯」を確保しよう: 広口ボトルとヘッドランプ
- 「食」を学ぼう: ローリングストック料理教室
保存袋でごはん炊き ※お米を1合ご持参ください。
- 「多様な防災」: ダンボールジオラマ
避難所でのアレルギー児対応

[自主防災組織連絡協議会ブース]

備蓄品、簡易トイレ展示
その他、防災関係団体・企業による展示・実演をおこないます。

※一部のプログラムは天候などの条件により変更する可能性があります。

STEP CAMP/寒川一さんのガイドで防災を学ぶ [防災体験ツアー]

[午前の部] 10:30~12:30 [午後の部] 13:00~15:00
内容: 燃料を探そうーお水をろ過しよう
ー暖かい食べ物をつくろうーキャンプ用品を知ろう
※お米を1合ご持参ください。

定員: 各回親子2人1組で10組(先着順)
組1人小学生以上1人 ※おとな2名でも参加可能です。
お申込み: 2月15日(水) 9:00より
※定員になり次第締め切らせていただきます。



[和太鼓 里空による演奏]

バチを使って太鼓の体験ができます。12:30~13:00
[起震車・煙体験・子ども消防服体験]
宮前消防署による体験コーナーです。

[防災DVD上映]

[午前の部] 10:30~ [午後の部] 13:00~
場所: 市民館ギャラリー
①もしものときにできること〜ぐらくらどん〜(32分) 幼児向け
②地震への備えが命を守る(21分) 小学生向け
③もし今地震が起きたら(19分) 大人向け

防災フェアに関するお問合せ・ツアーのお申込み: 044-856-3114 (宮前区役所危機管理担当)

「防災ニュース」に関するお問合せは、宮前区役所危機管理担当(856-3114)まで
バックナンバーは、宮前区役所ホームページ⇒安全安心のまちづくり⇒「防災ニュースのページ」をご覧ください。

アウトドアスキルを通して 防災を楽しく学びました。



日時: 11月26日(土) 14:00~16:00
会場: 宮前区役所4階 大会議室
講師: 寒川 一さん(STEP CAMP代表)

11月26日、区役所大会議室で『じもとで生き抜く「防災キャンプ」って〜家庭でも避難所でもできること〜』をテーマに、昨年8月に行われた川崎市総合防災訓練でも紹介され話題になったSTEP CAMPの寒川一さんを講師にお招きし、アウトドアスキルを活かした防災の知識を学ぶセミナーを開催しました。このセミナーは3月4日の宮前区防災フェアで行われる「防災キャンプ」の入門編という位置づけで行われました。

まずSTEP CAMPの取組みの紹介からスタート

講師の寒川(さんがわ)さんは、アウトドアショップの経営などを経て、アウトドアスキルをより多くの人と共有して、いざというときに役立ててほしいという思いから「STEP CAMP」を立ち上げ、各地で、「防災を楽しく体験し、学ぶワークショップ」を数多く開催されています。セミナーの前半では、そんな寒川さんの、これまでの取組みと「STEP CAMP」の主なプログラム内容の紹介がありました。



〈命の優先3の法則〉にかなった「火」と「水」の重要性

災害時のライフラインの復旧は、電気にくらべガス・水道が遅くなりがち。そのことを考慮すると、被災時にまず最初に自分たちで確保すべきは「火」と「水」と寒川さんは言います。

その理由は「人間は酸素がないと3分、体温が下がる(=火がなくて暖がとれない)と3時間、水がなくなると3日で生存が困難になってしまうが、反対に酸素、体温、水が確保できれば食料がなくても30日は生存できる」という〈命の優先3の法則〉を考えると「火=暖」と「水」の確保が生き延びるためにとても大切だということです。

「東日本大震災の時を見てもわかるように現代の日本では、被災時でも飢え死にする人はまず出ない。それよりも、体温を確保するために暖をとること、次に飲み水を確保することが大切なんです」。そして「そのことにこそアウトドアのスキルがとても役に立つんです」と寒川さん。

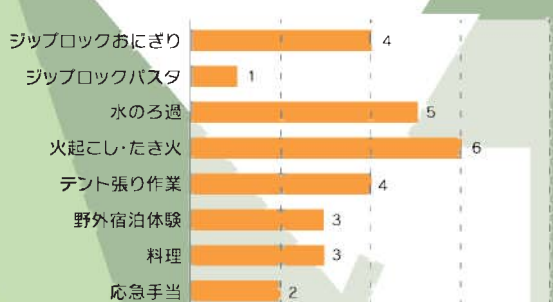


参加者アンケートより

◆日頃から災害に備えていること(複数回答者あり)



◆3月の防災フェアでやってもらいたいこと



災害時に役に立つアウトドアグッズの紹介に次々に質問が…

会場の大会議室には、アウトドアグッズやテントがディスプレイされていて、セミナーの後半では、寒川さんのいままでのキャンプ体験から編み出した裏技的使用法や、ぜひ揃えておきたいアウトドアグッズの紹介がありました。

アウトドアグッズの優れた点としては①合理性②コンパクト③頑丈④両面性⑤応用性・多機能性などがあげられますが、「荷物を雨から守る防水のザックは、荷物の代わりに水を入れれば布バケツにもなる」という④の両面性の説明や「防災用品の定番の懐中電灯は、アウトドア用品のヘッドライトタイプにすると両手が自由になり、子どもを抱っこしたりすることもできる」「アルミ製のサバイバルシートが1枚あるだけでかなりが寒さを防げる」などの説明に参加者は熱心に聞き入っていました。

講演が終わったあとはアウトドア用品を实际手にとったり、寝袋の体験をしたりしながら、寒川さんに次々に質問が投げかけられていました。



アウトドアグッズに参加者は興味津々



セミナー講演者の紹介



STEP CAMPとは

STEP CAMPは、災害被災時に役立つアウトドアのノウハウを、楽しく、実践的に学ぶ体験型の「防災キャンププログラム」を提案しています。火を起こして暖を取る、お米を炊く、テントを張り寒さをしのぐなど、アウトドアでは当たり前の事が被災時におおいに役立ちます。

『火』『衣』『食』『住』を基本としたプログラム構成

- 火** Fire 【火の確保】火の大切さを学び、確保や利用の仕方など安全に扱えるスキルを身につけます。
- 衣** Clothing 【体温の保持】衣類の選び方、着方、レスキューシートや新聞紙の利用法などを紹介します。
- 食** Food 【食料の確保】焚火でご飯を炊く体験や非常食の紹介などをします。
- 住** Shelter 【寝る場所の確保】テントを張れば、プライベートな空間が確保でき、雨や風から身を守ることができます。



STEP CAMP代表
寒川 一(さんがわ・はじめ)さん

アウトドアガイド、ショップ経営を経て『楽しく備える』をコンセプトにアウトドアスキルを防災に活かす体験型プログラムSTEP CAMPを提唱。三浦半島油壺STEP CAMP BASEを拠点に活動中。著書に『新しいキャンプの教科書』(2015年)

